

〔今月の詩編〕

第29篇

神の子らよ、主に帰せよ

御名の栄光を主に帰せよ 栄光と力を主に帰せよ
聖なる輝きに満ちる主にひれ伏せ。



ナザレの人イエス

マタイの福音書ではクリスマスの喜びを伝える話が終わるとすぐその後、ヘロデ王が自分の王位を脅かす存在として、幼子イエスを抹殺するため、ベツレヘム周辺一帯で生まれた二歳以下の男の子を皆殺しにしたことが記されています。救い主が生まれるクリスマスの到来により、劇的に、世の中は良くなり、幸せと喜び、嬉しいことが人に起こるのかというと、そうではありませんでした。人は依然として悪を思い計り、罪の中に生きている。人の救いはクリスマスというスイッチを入れれば、人の心が悪から善へ、罪からきよい心へと変わるようなものではありません。「ラマで激しく泣き悲しむ声があった」とあるように、それほど悲惨、それほど人のための救いは、根深く癒しがたいものであることに気付かされるのです。

ヘロデが殺したのは幼子たちの命でしたが、それはキリストを殺したことです。そして、子を失った婦人たちの深い悲しみ、それ以前に神から出た命、神ご自身のものを殺戮したことです。慰めてもらおうともしない婦人たちの心だけでは計り知れない、神の嘆きと悲しみを見るのです。神は正しく裁かれます。と共に、死んだ幼子の命が神の主権のもとにあること、また深い悲しみから慰めを拒む婦人たちに「慰め」を超え、癒しを与えられる神であられることを見ることができてはと思います。

ヘロデはイエスを殺せませんでした。皮肉なことに、30年後、ヘロデを極悪と見ていたユダヤ人たちがそれを成し遂げるのです。彼らの心の根っこにもヘロデと何の違もないものがある、と気付かされるのです。と共に、教会は私の罪が主イエスを十字架につけたと告白し、神に立ち返った人たちです。ヘロデほど極悪なことを行わないにしても、人の中には、幼子イエスがエジプトへヘロデから逃れなければならない、ナザレに退かななければならない。究極的には十字架の死に追いやる罪、ヘロデに通じるものがあるということでしょう。その原点をわきま

えなければ、いつでもヘロデに見られるものが、いつの間にか自分に現れてしまうこともあります。

以前、これは教会外の人のお話ですが、ある娘が母から「あなたなんか産まないほうが良かった」と言われたと聞いたことがあります。教会の中でもある息子がその母を恨んでいるのを見ました。

ヘロデのように目に見える王国ではありませんが、人はそれぞれ「自分の国」を築いて生きているのではないのでしょうか。周りの人を殺すようなことはなくても、人を妬み、人への怒り、自分の思い通りにならなければ憎む。恨む。退ける。この世は自分の立場を危うくする人がいなくなることを願う。自分のことを先にしてくれることに喜び、しかし、自分が後回しにされるようなことには不当だと訴える。自分は常に有利な立場に、楽なところへ、他の人より多く、また上、偉くされることを望むのです。正義といえども、家も、会社も、学校も、教会も、国も、神の義ではなく、自分の正義で動かしたい。王という称号は持っていないにしても、自分を王としているのを見るのです。それこそ、幼子イエスをエジプトに追いやる、ナザレに追いやり、究極的には十字架に追いやるものでしょう。

人はこの方をエジプトへ、ナザレへ、また十字架の死に追いやるのですが、キリストはそれぞれ自分の国を築いて生きる人を救うために、この地上に生まれ、人の罪を償うささげ物となられ、死んだのです。そこに神の国が表されました。この方の十字架を見て、誰でも、自分こそヘロデのように自分の国を築いてきたと、その私の罪が主イエスを十字架につけたと告白する者たちが、もはや自分のために周りが犠牲になる国を築くのではなく、そういった自分の国を捨て、人のために生きる、そのために自分を捨てる、死ぬ、神の国を生きるようにとしてみてください。

(マタイ2・13～23)

子ども礼拝 (9時20分より・地下ホール)

説教 「本当に幸せな人」

聖書 マタイ5章1～12節 (新約 P.6)

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

新年・成人式礼拝 (10時30分より)

司式 山下 純一 兄

聖餐司式 黄 允湜 牧師

○前奏 「主キリスト、神のひとり子」 D.ブクステフデ

○讃美 411番

○十戒

○告白の祈り

○奉獻頌

○使徒信条

○牧会の祈り

○主の祈り

○聖書朗読 箴言30章1～6節 (旧約 P.1030)

○聖歌隊による讃美 「主のみちへ」 B.J.リー作曲

○説教 「私には知恵も分別もない」

黄 允湜 牧師

○讃美 278番

○聖餐 「奮い立て、わが心よ」 S.カルク-エート

○報告

○頌栄

○派遣の言葉

○祝福

○後奏 「汝のうちに喜びあり」 J.S.バッハ

《 今日のお知らせ 》

- 今日は新年・成人式礼拝です。
- 礼拝後には、新成人の方たちをご紹介する集会を持ちます。どうぞご参加ください。
- 集会後には、クリスマス装飾の片付けがあります。お手伝いの可能な方はお力添えください。
- 午後には運営委員会をはじめ各種小委員会があります。関係者の方はご参加ください。

《 役員会より 》

来週1月14日以降、主日礼拝は10時30分からの一回礼拝体制となります。礼拝開始時間がこれまでと変わりますので、お間違えない様お願いいたします。子ども礼拝はこれまで通り、9時20分から地下ホールで行います。

《 今後の予定 》

- 14日 主日礼拝の一回礼拝体制開始
(10時30分より)
- 21日 定例役員会
- 28日 教会研修会

《 次週の礼拝 》

子ども礼拝 (午前9時20分・地下ホール)

説教 「地の塩、世の光」

聖書 マタイ5章13～16節

説教者 宮間 彰広 兄

一回礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 2番 270番

説教 「明日のことまで心配するな」

聖書 マタイ6章25～34節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師